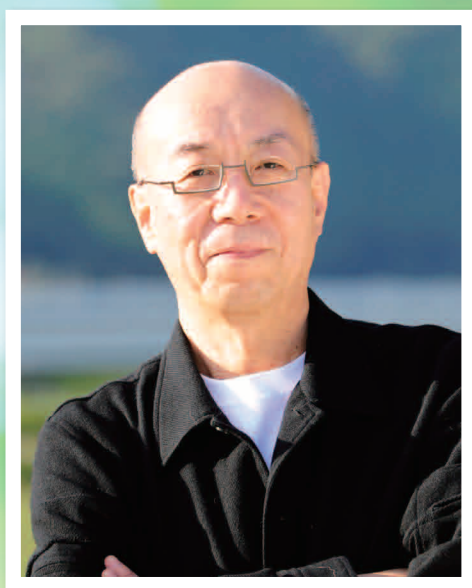


Be Real —学ばべきこと、意味—

「即戦力」人材教育が叫ばれる現代社会。

いわゆる実学系の教育・研究機関への期待度が高まるなか、宗教・哲学・思想することの意味はどこにあるのでしょうか。

本シンポジウムでは、人文科学系の大学・学部ならではの学びについて考えていきます。



基調講演

鷺田 清一氏

哲学者・京都市立芸術大学学長
大谷大学客員教授

木越 康 大谷大学学長

〈コーディネーター〉

友澤 和子

朝日新聞出版「大学ランキング」元編集長



参加無料
定員 **500人**

事前申込制

日時

2017年

6月24日

開場／13時30分

開演／14時

終了／16時30分 (予定)

場所

大谷大学 講堂

(京都市北区小山上総町)

京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行「北大路」駅すぐ、
JR京都駅から乗車時間約13分

**Be
Real**

大谷大学の教育を学内外に対して示す、象徴となる新しいメッセージ。「Real」には仏教でいう「真実」と、目の前にある「現実」の2つの「実」の意味を込め、「Be」は「足場をおく」「成る」を表す。つまり、真実を求めること、人間や社会の現実から目を離さないという2つを同時に表現している。



大谷大学／大谷大学短期大学部

Be Real

— 学ぶべきこと、意味 —

出演者プロフィール

鷲田 清一氏

（哲学者
京都市立芸術大学学長
大谷大学客員教授）



わしだ・きよかず●1949年京都市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程（哲学専攻）単位取得退学。大阪大学総長・大谷大学教授などを歴任。現在は大谷大学客員教授、京都市立芸術大学理事長・学長。現象学・身体論の視点から、医療や介護、教育の現場などに哲学の思考をつなぐ「臨床哲学」にも取り組む。著書に『モードの迷宮』（サントリー学芸賞）、『「聴く」ことのか』（桑原武夫学芸賞）、『「ぐずぐず」の理由』（読売文学賞）、『メルロ＝ポンティ可逆性』など。

木越 康

（大谷大学学長）



きごし・やすし●1963年米国・カリフォルニア州生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士課程（真宗学専攻）満期退学。財団法人私学研修福祉会国内研修修了（研修先：東京大学文学部宗教学科）。大谷大学文学部准教授、副学長などを経て2016年4月から現職。著書に『ボランティアは親鸞の教えに反するの—他力理解の相克—』（法蔵館）、『「正像末和讃」を読む』（真宗大谷派大阪教区）がある。

■コーディネーター 友澤 和子

（朝日新聞出版
「大学ランキング」
元編集長）



ともさわ・かずこ●朝日新聞出版書籍編集部部長。横浜市出身。早稲田大学教育学部卒業後、朝日新聞社入社。新聞・雑誌記者時代、教育問題を多く取材。「朝日新書」創刊に携わり、「一日一生」などベストセラーを多く手掛ける。「AERA」副編集長、「AERA大学ムック」「AERAイングリッシュ」「大学ランキング」などの編集長を経て現職。高校生、中学生の2人の母でもある。

応募方法

はがき・FAX・電子メール・WEBフォームのいずれかで①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤性別⑥電子メールまたは電話番号⑦職業⑧参加希望人数⑨シンポジウムで聞きたいこと（任意）を明記して、下記まで応募ください。

2017年
6月15日(木)
必着

- はがき：〒530-8612 日本郵便(株)大阪北郵便局私書箱191号
朝日新聞大阪本社メディアビジネス局
「大谷大学6月シンポジウム」係
- FAX：06-6231-9029（24時間受け付け）
- 電子メール：otani@asahi.com（24時間受け付け）
- WEBフォーム：http://www.asahi-web.net/otani2/（24時間受け付け）

※FAX、電子メールには「大谷大学6月シンポジウム」と明記してください。※応募者多数の場合は抽選。当選の発表は聴講券の発送をもって代えます（聴講券の発送は開催日1週間前をめどとします）。※お預かりする個人情報は、本シンポジウムの実施運営に関わる業務の目的以外には使用しません。

お問い合わせ：朝日新聞大阪本社メディアビジネス局 TEL06-6201-8302（平日10時～17時）



大谷大学3学部化シンポジウム開催のお知らせ

教育学部*新設編

Be Real “寄りそう教育”
— 次の世代へのメッセージ —

日 時 7月15日(土)
開場／13時30分
開演／14時
終了／16時(予定)

基調講演

住田 裕子氏 (弁護士)

ディスカッション

住田 裕子氏
関口 敏美 (大谷大学教授【教育学部長就任予定】)
富岡 量秀 (大谷大学教授【真宗保育 幼児教育学】)
友澤 和子

会 場

大谷大学 講堂



住田 裕子氏

申し込み方法・詳細については、朝日新聞、大谷大学HPにて公開しています（教育学部新設編については後日公開します）。

※教育学部は設置届出中のため、名称・内容などは予定であり、変更される場合があります